



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年1月31日

上場会社名 株式会社京都銀行 上場取引所 東
 コード番号 8369 URL <https://www.kyotobank.co.jp/>
 代表者(役職名) 取締役頭取 (氏名) 土井 伸宏
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員経営企画部長(氏名) 本政 悦治 (TEL) 075-361-2275
 四半期報告書提出予定日 2022年2月4日 配当支払開始予定日 —
 特定取引勘定設置の有無 無
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	104,646	21.2	33,091	22.9	23,858	24.1
2021年3月期第3四半期	86,273	△4.4	26,909	△3.9	19,220	△3.4

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 24,648百万円(△92.5%) 2021年3月期第3四半期 331,916百万円(190.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	315.49	315.18
2021年3月期第3四半期	254.26	253.99

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	12,561,470	1,187,959	9.4
2021年3月期	12,273,908	1,168,153	9.4

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 1,185,141百万円 2021年3月期 1,165,371百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末新株予約権-期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2022年3月期	—	35.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	65.00	100.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2. 2022年3月期 第2四半期末配当金の内訳 創立80周年記念配当金 5円00銭

詳細は、本日(2022年1月31日)公表しました「配当予想の修正および自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	125,400	15.9	27,800	16.9	20,000	264.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、本日(2022年1月31日)公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.4「1. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期3Q	75,840,688株	2021年3月期	75,840,688株
2022年3月期3Q	209,376株	2021年3月期	234,329株
2022年3月期3Q	75,622,018株	2021年3月期3Q	75,590,599株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・四半期決算説明資料は四半期決算短信に添付しております。

○添付資料の目次

1. 四半期連結財務諸表及び主な注記	2
(1) 四半期連結貸借対照表	2
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	3
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	4
(継続企業の前提に関する注記)	4
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	4
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	4
(会計方針の変更)	4
2021年度第3四半期決算説明資料	5

1. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
現金預け金	2,606,209	3,017,227
コールローン及び買入手形	194,649	169,739
買入金銭債権	13,233	15,971
商品有価証券	175	145
金銭の信託	13,093	13,083
有価証券	3,230,019	3,145,101
貸出金	6,059,467	6,035,462
外国為替	6,986	7,653
リース債権及びリース投資資産	12,773	12,660
その他資産	71,034	73,418
有形固定資産	75,889	76,613
無形固定資産	2,850	2,897
繰延税金資産	1,074	1,074
再評価に係る繰延税金資産	58	105
支払承諾見返	15,101	19,955
貸倒引当金	△28,709	△29,639
資産の部合計	12,273,908	12,561,470
負債の部		
預金	7,989,599	8,197,488
譲渡性預金	698,363	489,234
コールマネー及び売渡手形	459,000	643,000
債券貸借取引受入担保金	429,312	430,762
借入金	1,108,636	1,221,853
外国為替	162	191
信託勘定借	4,170	4,735
その他負債	82,750	47,557
退職給付に係る負債	28,647	27,660
睡眠預金払戻損失引当金	412	412
偶発損失引当金	919	761
特別法上の引当金	0	0
繰延税金負債	288,678	289,898
支払承諾	15,101	19,955
負債の部合計	11,105,754	11,373,510
純資産の部		
資本金	42,103	42,103
資本剰余金	34,190	34,171
利益剰余金	388,575	407,624
自己株式	△1,279	△1,143
株主資本合計	463,590	482,756
その他有価証券評価差額金	711,922	705,354
繰延ヘッジ損益	△7,747	△798
土地再評価差額金	△132	△238
退職給付に係る調整累計額	△2,261	△1,932
その他の包括利益累計額合計	701,781	702,384
新株予約権	356	316
非支配株主持分	2,424	2,502
純資産の部合計	1,168,153	1,187,959
負債及び純資産の部合計	12,273,908	12,561,470

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自2020年4月1日 至2020年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自2021年4月1日 至2021年12月31日）
経常収益	86,273	104,646
資金運用収益	62,664	67,326
（うち貸出金利息）	33,741	33,235
（うち有価証券利息配当金）	28,155	31,762
信託報酬	6	5
役務取引等収益	13,321	15,396
その他業務収益	7,583	20,778
その他経常収益	2,697	1,139
経常費用	59,363	71,555
資金調達費用	3,380	2,361
（うち預金利息）	1,399	852
役務取引等費用	5,524	4,433
その他業務費用	4,654	18,304
営業経費	42,269	41,937
その他経常費用	3,535	4,518
経常利益	26,909	33,091
特別利益	0	47
固定資産処分益	0	47
特別損失	389	389
固定資産処分損	389	389
金融商品取引責任準備金繰入額	0	0
税金等調整前四半期純利益	26,520	32,749
法人税、住民税及び事業税	6,660	8,074
法人税等調整額	558	730
法人税等合計	7,219	8,805
四半期純利益	19,301	23,944
非支配株主に帰属する四半期純利益	80	86
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,220	23,858

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自2020年4月1日 至2020年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自2021年4月1日 至2021年12月31日）
四半期純利益	19,301	23,944
その他の包括利益	312,615	704
その他有価証券評価差額金	304,738	△6,572
繰延ヘッジ損益	7,415	6,948
退職給付に係る調整額	462	328
四半期包括利益	331,916	24,648
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	331,763	24,568
非支配株主に係る四半期包括利益	153	80

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

連結子会社の税金費用は、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下、「時価算定会計基準」という。）等を当第3四半期連結累計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響は、軽微であります。

（収益認識に関する会計基準等の適用）

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下、「収益認識会計基準」という。）等を当第3四半期連結累計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金の当期首残高へ与える影響はありません。

また、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響もありません。

2021年度第3四半期決算説明資料

1. 2021年度第3四半期の業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結・単体損益の概要

連結損益については、経常利益が前年同期比61億円増加の330億円、親会社株主に帰属する四半期純利益が前年同期比46億円増加の238億円となり、大幅な増益となりました。

【 連結損益 】

(百万円)

	2021年度 第3四半期		2020年度 第3四半期
		前年同期比	
連結粗利益	78,408	8,390	70,017
連結経常利益	33,091	6,182	26,909
親会社株主に帰属する四半期純利益	23,858	4,638	19,220

【 単体損益 】

(百万円)

	2021年度 第3四半期		2020年度 第3四半期
		前年同期比	
業務粗利益	74,519	8,193	66,325
経常利益	30,974	6,213	24,760
四半期純利益	22,518	4,615	17,902

【 連単差（子会社寄与分） 】

(百万円)

	2021年度 第3四半期		2020年度 第3四半期
		前年同期比	
業務粗利益	3,888	196	3,691
経常利益	2,117	△ 31	2,148
四半期純利益	1,339	22	1,317

（2）単体損益の状況

資金利益が、有価証券利息配当金を中心に前年同期比56億円増加したほか、役務取引等利益が、預かり資産取引や法人関係取引を中心に前年同期比31億円増加したため、業務粗利益は、前年同期比81億円増加して745億円となりました。

また、実質業務純益は、上記要因に加え、経費の削減により、前年同期比85億円増加して341億円となりました。

一方、与信関連費用が増加したため、経常利益は309億円となり、これらの結果、四半期純利益は、前年同期比46億円増加の225億円となりました。

(百万円)

	2021年度 第3四半期		2020年度 第3四半期
		前年同期比	
業務粗利益 A	74,519	8,193	66,325
資金利益	64,909	5,669	59,239
役務取引等利益	8,398	3,127	5,270
その他業務利益	1,212	△ 603	1,815
うち国債等債券損益	※ 561	△ 484	1,045
経 費 B	40,330	△ 351	40,682
OHR (B/A)	54.12 %	△ 7.21 %	61.33 %
実質業務純益	34,189	8,545	25,643
コア業務純益	※ 33,627	9,030	24,597
除く投資信託解約損益	※ 32,921	9,528	23,393
一般貸倒引当金繰入額 ①	2,627	1,585	1,042
業務純益	31,562	6,960	24,601
臨時損益	△ 587	△ 747	159
不良債権処理額 ②	943	53	889
株式等関係損益	626	325	300
その他臨時損益	△ 271	△ 1,019	748
経常利益	30,974	6,213	24,760
特別損益	△ 341	31	△ 373
税引前四半期純利益	30,632	6,244	24,387
法人税等合計	8,113	1,628	6,485
四半期純利益	22,518	4,615	17,902
与信関連費用 (①+②)	3,570	1,638	1,931

(注) コア業務純益とは、実質業務純益から国債等債券損益を除いたものであります。

※ ヘッジ取引解消に伴う費用（13,869百万円）調整後。

2. 主要勘定の状況 【単体】

(1) 預金・譲渡性預金

預金・譲渡性預金は、個人預金を中心に、2020年12月末比3,124億円増加して、8兆7,174億円となりました。

(億円)

	2021年12月末	2020年12月末比		2020年12月末	2021年9月末
		増減額	増減率		
預金	82,057	3,968	5.0%	78,088	80,744
譲渡性預金	5,117	△ 844	△ 14.1%	5,961	5,828
預金・譲渡性預金	87,174	3,124	3.7%	84,050	86,572
個人	54,943	2,475	4.7%	52,468	53,769
法人	26,020	844	3.3%	25,175	26,207
金融・公金	6,210	△ 196	△ 3.0%	6,406	6,594

(2) 貸出金

貸出金は、大企業の新型コロナ感染拡大に備えた資金調達が一巡したことにより、2020年12月末比238億円減少して、6兆445億円となりました。

なお、中小企業等貸出金については、2020年12月末比421億円増加して、4兆204億円となりました。

(億円)

	2021年12月末	2020年12月末比		2020年12月末	2021年9月末
		増減額	増減率		
貸出金	60,445	△ 238	△ 0.3%	60,684	60,310
うち中小企業等貸出金	40,204	421	1.0%	39,783	40,096
うち中小企業向け貸出金	23,746	351	1.5%	23,395	23,635
住宅ローン	17,237	△ 10	△ 0.0%	17,248	17,250

(3) 有価証券

有価証券残高は、市場動向を注視しつつ、適切な運用に努め、評価差額を除いた期末残高は2兆1,346億円となりました。

(億円)

	2021年12月末	2020年12月末比		2020年12月末	2021年9月末
		増減額	増減率		
有価証券	31,484	△ 467	△ 1.4%	31,952	32,125
債券	19,791	△ 460	△ 2.2%	20,251	20,531
株式	11,693	△ 7	△ 0.0%	11,701	11,594
(うち評価差額)	10,138	△ 96	△ 0.9%	10,235	10,164
評価差額除く有価証券	21,346	△ 371	△ 1.7%	21,717	21,961

(4) グループ預かり資産

販売額は、投資信託、金融商品仲介、保険のいずれも前年同期比増加し、グループ預かり資産残高は、2020年12月末比475億円増加して6,961億円となりました。

< 残高 >

(億円)

		2021年12月末	2020年12月末比		2020年12月末	2021年9月末
			増減額	増減率		
京 都 銀 行	投資信託	2,227	430		1,796	2,102
	保 険	2,661	43		2,617	2,609
	外貨預金	190	△ 57		247	212
	公共債	653	△ 49		703	671
京 銀 証 券		1,228	108		1,120	1,209
グループ合計		6,961	475		6,485	6,805

(注) 外貨預金は、個人外貨預金残高を記載。

< 期中販売額 >

(億円)

	2021年度 第3四半期	前年同期比	
		増減額	増減率
投資信託	594	263	330
金融商品仲介	423	36	387
保 険	184	118	65

(注) 保険は、一時払の個人年金保険および終身保険の販売額合計を記載。

3. 健全性の状況 【単体】

(1) 有価証券の評価差額(含み益)

有価証券の評価差額(含み益)は、1兆138億円と引き続き高水準を維持しております。

(億円)

	2021年12月末			2020年12月末			2021年9月末		
	評価差額	評価益	評価損	評価差額	評価益	評価損	評価差額	評価益	評価損
その他有価証券	10,138	10,204	65	10,235	10,336	101	10,164	10,220	56
株式	9,963	9,983	19	9,952	9,980	27	9,860	9,876	16
債券	32	70	37	73	103	29	45	78	32
その他	142	149	7	208	252	44	258	265	6

(2) 不良債権の状況

金融再生法開示債権比率は1.43%、また部分直接償却を実施した場合には1.38%となり、引き続き低水準となっております。

金融再生法開示債権の推移

(億円)

	2021年12月末	2020年12月末比	2020年12月末	2021年9月末
	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	64	3	60
危険債権	750	151	598	733
要管理債権	66	△ 11	77	68
開示債権合計	880	143	737	862
開示債権比率	1.43%	0.23%	1.20%	1.41%

<部分直接償却後> 開示債権合計	848	141	707	833
開示債権比率	1.38%	0.23%	1.15%	1.36%

4. 2021年度の業績予想の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

2021年度の業績予想は、第3四半期決算の状況を踏まえ、連結の親会社株主に
 帰属する当期純利益は200億円、単体の当期純利益は182億円に上方修正いたします。

【 連結 】

（百万円）

	2021年度			2020年度
	今回修正	増減額	前回発表	
連結経常利益	27,800	700	27,100	23,765
親会社株主に帰属する当期純利益	20,000	1,000	19,000	16,860

【 単体 】

（百万円）

	2021年度			2020年度
	今回修正	増減額	前回発表	
経常利益	25,100	700	24,400	20,625
当期純利益	18,200	1,000	17,200	14,878

5. 配当予想の修正

当行は、株主還元方針を変更し、「親会社株主に帰属する当期純利益に対する
 総還元性向50%を目安とする」といたしました。（2021年12月28日公表）

つきましては、期末配当金を30円上方修正し65円、年間では100円とする予定です。

また、25億円（620千株）を上限として、自己株式取得に係る事項を決定しており、
 配当とあわせて、一層の株主還元を図ることとしております。

	2021年度			2020年度
	今回修正	増減額	前回発表	
中間配当金	35円00銭 実施済 ※			30円00銭
期末配当金	65円00銭	30円00銭	35円00銭	30円00銭
年間配当金	100円00銭	30円00銭	70円00銭	60円00銭

※普通配当金 30円00銭、創立80周年記念配当金 5円00銭であります。

自己資本比率(国内基準)の2021年12月末実績につきましては、算出次第公表いたします。